



2023年度 東南アジア知財ネットワーク 総会

FY2023 SEAIPJ Meeting

シンガポール WG 2023年度の活動と今後の活動予定

Singapore WG Activities in the FY2023 and future schedule

2024.3.26 (March 26, 2024)

シンガポール WG (Singapore WG)

グループリーダー 奥 啓徳 (Group leader : Yoshinori Oku)

1. 2023年度の活動実績 / Activities Report of the FY2023

(1) WG ミーティング / WG meeting

全3回のWGミーティングを開催(2023年11月8日、2024年1月19日、2024年3月26日)。

We held WG meetings on 8th Nov 2023, 19th Jan 2024 and 26th March 2024.

・シンガポールWGは、インドネシアの知財状況をメンバー間で共有することを主な活動内容としております。

2. グループの活動 / Activities of group

・グループの活動として、3件報告します

1: 北海道大学様における知財の取り組み

・北大の主たる発明は、製薬、バイオ、アグリ、ITと多岐にわたっている。これらの発明を、日本特許庁に対して年間80件程度特許出願をしており、その半分くらいは、US, CN, EUへも特許出願をしている。

・昨今の国立大学は、特許使用料という形でRoyalty回収し、大学も経済的にも自立するよう文部科学省より指導を受けている。このRoyalty回収の結果が、大学ランキングにも反映される時代である。

・北大は、米国ボストンに出先機関をつくり、ボストンのスタートアップイベントなどを通じ、ボストンの製薬系スタートアップへの特許権ライセンスを行うことによりRoyalty回収を行っている。

・同じビジネスモデルを、シンガポールへ横展開できないか、検討している。シンガポールWGと色々意見交換をした。

2. 外務省経済局知的財産室様の知財取り組み

・本省2000人、在外公館3000人の人が働いているが、在外公館は、世界に約200あり、知財取り組みも行っている。

・最近は、各国との経済連携において、IP チャプターが入ることが多く、外務省経済局知的財産室が主に担当している。

・22年は26か国126件の相談を受けたが、通算の相談件数を国別でいうと、中国約900件、ASEAN約183件（うちベトナム60）の相談を受けた。

事例1：コンゴ

事例2：中国。悪意をもってTM出願した。在中国大使館が口上書をだして、知財局が異議を認めた。

事例3：グアテマラ、民事1審、2審をしたが負けた。グアテマラの最高裁判事との面接で、外交官の知財担当官が同行した。外務省からの口上書も持参した。

事例4：タイ、日本サッカー協会のロゴに、JAPANと記載されていて、DIPに拒絶された。タイ8条（6）には、「国の名称があると登録しないけど、当該国の許可がある場合にはこのかぎりではない」とあるので、佐野書記官（当時）の口上書をだした。

3. JICA インドネシア岡様の活動

・JPO 審査官の経験をいかして、DGIP の審査能力向上をしようとしている。

4. 今後の活動予定

✓ メンバー間で情報を共有するものがあれば、共有 / Sharing the Singapore' s IPR information among the members

以上